

# 学校図書館だより



平成30年 3月 15日  
横浜市立森の台小学校  
校長 酒井 浩明  
図書主任 清水あゆみ  
学校司書 近江弥穂子

No. 11

今年度も森小図書館にたくさんの児童が足を運んでくれました。年々、本に親しみ、学校図書館を利用する子どもたちが増えていることに嬉しく思います。学校司書、図書ボランティア、おはなしポケット、図書委員会と様々な方々との協力、連携を進めながら図書館作りを行っています。季節の飾りや、〇〇コーナー、おすすめの本紹介と図書館に入ると魅力のあるものばかり。この積み重ねも増えていることにつながるのでしょう。来年度も、足を運びたくなる図書館をめざしていけたらと思います。

春休みは本の特別貸し出しがないので、ぜひ緑図書館やコミュニティハウスなど、他の図書館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。学校図書館には置いていない本との素敵な出会いがあるかもしれませんね。

## 学校図書館からのお知らせ

- 学校図書館の休み時間の利用は3月15日（木）までです。
- 不明の本が何冊かあります。学校図書館の本を見かけたら返却してください。
- 春休みの特別貸出しはありません。緑図書館などに行ってみましょう！

## 先生のおすすめ本

校長先生 『怪人二十面相シリーズ』 江戸川乱歩 著	百崎先生（個別級） 『まんてんべんとう』 くすのきしげのり作	矢本先生（養護） 『世界で一番のねこ』 藤野恵美 文	鵜飼先生（養護） 『+1 cm たった1cmの差が あなたの世界をがらりと変える』 キム ウンジュ 文
学校図書館に あります	学校図書館に あります		

小学校低学年と中学年は、図鑑・百科事典は、一辺倒だった私が、物語的な本に親しむようになったシリーズです。

大好きなお母さんを想う男の子の勇氣と、それをたたえるお父さんの言葉に心があつくなりました。

ねこブームの一年であったように思います。ねこの世界を私たちの日々におきかえるとさまざまな価値観を学ぶことができます。それぞれの年代でさまざまな読み方ができるステキな本です。

ほんのすこし見方をかえると、ぱっと世界が変わって見えてきます。つらいときやかなしいときに読むと元気ができます。イラストもとってもかわいい！！

# トピックス ～徳川 慶喜（とくがわ よしのぶ）～

徳川慶喜は、江戸幕府最後の将軍であり、また日本史上最最後の征夷大将軍です。御三家の水戸藩藩主・徳川斉昭の七男として生まれましたが、早くに御三卿の一橋家を相続します。御三卿は御三家と並び、将軍に適切な跡継ぎがない場合は将軍候補を出す事ができる家柄です。慶喜の人格や才能が優れていることは早くから注目を集めており、第13代将軍の徳川家定が病弱で跡継ぎをもうける見込みがなくなると、紀州藩主・徳川慶福（後の第14代将軍・徳川家茂）と並び将軍後継候補に推されます。結局、井伊直弼が老者に就任することにより、彼の判断で慶福が後継将軍に決めます。井伊大老下の安政の大獄では謹慎処分を受け、一時、政治より遠ざかりますが、井伊が桜田門で暗殺されると謹慎を解除され、将軍後見職として政治の表舞台に返り咲きます。その後、前将軍・家茂が早くに亡くなったことで第15代将軍に就任しますが、幕府を倒そうというの嵐が吹き荒れる中、諸外国からの干渉もあり、政治的には非常に難しい局面に追い込まれます。慶喜は幕政改革に力を尽くしますが時代の流れに逆らうことは難しく、ついに1867年に政権を朝廷へ返上します（大政奉還）。慶喜は当時の朝廷には行政能力が無いと判断し、平和のうちに旧徳川将軍家を中心とする諸大名連合政権への移行を計画していたとも言われています。しかし、結局は鳥羽・伏見の戦いに始まる戊辰戦争が起こり、時代の流れは武力倒幕へと突き進みます。慶喜は鳥羽・伏見の戦いでの幕府軍敗退を聞くと、立てこもっていた大坂城よりいち早く江戸に逃げ帰り、その後は幕閣が武力行使しようというのを退け、ひたすら朝廷に従う姿勢を示します。この慶喜の姿勢により京都や江戸は焼け野原なることをまぬがれましたが、これは彼の功績のひとつではないかと考えます。

## 今月のおすすめの本

「かがみの孤城」

辻村深月 著

「おとうさんがいっぱい」

三田村信行 作

「東京防災」

東京都総務局総合防災部防災管理課

学校にもどこにもいけず、部屋に閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然鏡が光り始めた。光る鏡をくぐりぬけた先の世界にはここと同じような境遇の7人が集められていた。この世界にいられるのは9時から17時まで。願いを叶えるために鍵を探すところたちは？！

お父さんが増えていく…ある日突然どの家庭でもお父さんが5～6人に増えてしまった。同じ顔、同じ声で全く区別がつかない。そしてだれもが自分が本物だという。対応に困った政府は…?! 背筋が凍るようなお話5つ収録されています。

東京仕様の防災ブックですが、書店で140円で購入できます。防災・災害の知識をつけるだけではなく、今すぐできる具体的なこともたくさん載っています。いろんな「もしも」の際のマニュアル（食器の作り方から消火器の使い方まで多数）もあります。

## 編集後記

先日配布されました「森の台小の子どもと学校司書」は2月の学校司書の研修で発表させていただきました。このような機会を頂けたことで、この4年半を改めて見直すことができました。子ども達が学校図書館で授業をしたり、学校図書館に来ることが決して特別ではなくなっているのは、先生方はもちろん、保護者の皆様地域の皆様よりお力添え頂けているからだと思えます。本当にいつもありがとうございます。授業支援などで子ども達に興味・関心をもってもらえるようにいろいろな仕掛けを心がけてきましたが、これからも、学習することを少しでも自分のこととしてとらえてもらえるといいなと思えます。図書館は人類の知恵が集まっているところなので、上手に使えるようになってほしいです。

学校司書 近江